

平成28年度 元気なならっ子約束運動 取組のまとめ

今年度の特徴

- ① ノートからシートへ
- ② カレンダー形式からパズル形式へ
- ③ 実施期間の重点化

① ノートからシートへ

- 手軽に子どもの目線に合わせて、壁に張って使える
- 月ごとに取り外しができ、使いやすい
- 紛失しやすい

<保護者の意見>

- 子どもの目線の高さにシートを貼っていたので、子どもが自らお手伝いするようになった。シールが多くなるのが嬉しいようなのでこれからも続けていきたい。(3歳児保護者)
- カレンダー一様式もよいけれど、通算して10個たまったら「家族とハグして褒めてもらおう」とかにしてほしいと思う。お手伝いを1日に2つ3つできる日もあるので、それを反映させてあげたい。(5歳児保護者)

② カレンダー形式からパズル形式へ

- どんな絵ができるかわくわく感がある
- できたら一つの絵になるので、達成感がある
- 番号を合わせたし、きれいにシールを貼るのが難しい

<保護者の意見>

- シールを貼るとかわいいうイラストがでてくるのが嬉しかったようで、貼る楽しみになっていました。期間が短いのも良かったです。(3歳児保護者)
- シールを貼って絵が完成するというのが楽しかったようです。成果が目に見えて分かりやすいのが良かったです。(4歳児保護者)
- 良い点は、シールパズルになっていて子供が楽しめたことと、子どもが自ら考え行動を起こす。継続しようとする力がついてきたことを認識することができました。(5歳児保護者)

③ 実施期間の重点化

- 期間が決まっているほうが、メリハリがあったよ
- 夏は、規則正しい生活が出来てよかった
- 冬休みは行事やお出かけも多いため取り組みにくい
- 幼児には期間が長すぎる、負担が大きい

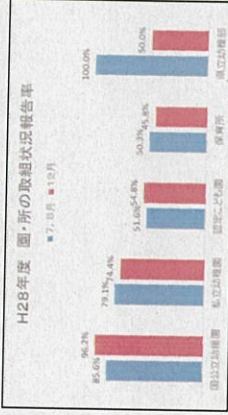
<保護者の意見>

- 期間の間隔があき、少し長いのでだしてしまいました。(5歳児保護者)
- 子どもはシールを貼るのを楽しみに取り組んでいた。長期間は少ししんどいので、夏休みだけ冬休みだけしてほしい。(4歳児保護者)
- 冬休みは必要ないかな。夏休みに集中した方がよいと思います。(4歳児保護者)
- 夏と冬に実施するのは用紙をなくしがちだし、忘れがちなので期間を短くしてもらえたらいいです。(4歳児保護者)

<昨年度の課題>

- ① ノートタイプは、ページがあちこちにまたがっていて、シールを貼る場所が多く、カレンダータイプのように、1ページ完結型の方がよいのではないか。
- ② 秋以降は各月の取組の日数も少なく、期間もあまり意欲を持続させるのが難しい。
- ③ 取組期間が長く、親の負担が大きいのではないか。

各園・所の取組の状況について



報告のあった園・所での配布数
教育研究所配布数

63.5%

【取組報告のあった園・所について】

園・所の配布数	報告のあった園・所					取組んだ幼児数					取組率②
	3歳児	4歳児	5歳児	合計	取組率①	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
国立幼稚園	1803	2333	3064	7800	7332	94.0%	1422	2440	2547	6409	87.4%
私立幼稚園	1341	1406	1536	4283	3035	70.9%	841	875	910	2626	86.5%
認定こども園	527	542	544	1613	472	85.5%	360	389	402	1147	83.2%
保育所	2008	1934	1911	5853	1409	72.1%	1018	1052	1059	3127	74.0%
県立幼稚園	10	10	9	29	8	89.7%	8	7	7	22	84.6%
合計	5689	6825	7066	19,578	5858	81.7%	3,649	4,759	4,919	13,327	83.3%

本運動に取り組んだ幼児は、昨年度と比較すると、取り組んだ幼児の割合(取組率①)も1.9ポイント高く、取組に対する積極性は、8.1ポイント高かった。
今年度の改善点が生かされた結果となった。



園立幼稚園	132	認定こども園	31
私立幼稚園	43	保育所	177
県立幼稚園	2	合計	385

今年度の取組状況の報告については、園・所の種別により、取組報告に差が見られ、認定こども園や保育所において、取り組みにくい実態が見えてきた。これらの実態を踏まえ、参加しやすいように工夫を必要があると思われる。

取組の報告があった園・所における幼児へのシートの配布数は、研究所が配布した30,822部のうち、19,578部(63.5%)であった。
しかし、報告のあった園・所で配布した幼児のうち、この約束運動に取り組んだ幼児は、15,993人(81.7%)で、その中でも、8割シールを貼るといった積極的に取り組んだ幼児は13,327人(83.3%)であった。

平成28年度「元気ななっ子約束運動」優秀園・所【全28園・所】

1. がんばって広めたでしょう部門(18園・所)			
〈公立幼稚園〉9園	〈私立幼稚園〉3園	〈保育所〉5園・所	〈認定こども園〉1園
<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市立あやめ池幼稚園 ・奈良市立辰市幼稚園 ・奈良市立朱雀幼稚園 ・大和高田市立菅原幼稚園 ・大和郡山市立矢田幼稚園 ・香芝市立志都美幼稚園 ・香芝市立旭ヶ丘幼稚園 ・斑鳩町立斑鳩幼稚園 ・明日香村立明日香幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園前ネオポリス幼稚園 ・東大寺学園幼稚園 ・奈良カトリック幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・大和高田市立みどり保育所 ・桜井市立第3保育所 ・学研 まゆみ保育園 ・香芝市立真美ヶ丘保育所 ・斑鳩町立あわわ保育園 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市立葛雄南こども園
2. がんばって取り組んだでしょう部門(5園)			
〈公立幼稚園〉3園	〈私立幼稚園〉1園	〈保育所〉	〈認定こども園〉1園
<ul style="list-style-type: none"> ・大和高田市立浮孔西幼稚園 ・天理市立前栽幼稚園 ・田原本町立南幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良佐保短期大学附属生駒幼稚園 		<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市立室生こども園
3. がんばってシールを貼ったでしょう部門(5園・所)			
〈公立幼稚園〉3園	〈私立幼稚園〉1園	〈保育所〉1所	〈認定こども園〉
<ul style="list-style-type: none"> ・奈良市立飛鳥幼稚園 ・天理市立丹波市幼稚園 ・宇陀市立榛原東幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人ハルナ学園ハルナ幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市立菟田野保育所 	

「元気なならっ子約束運動」～みんなで目指そう 子どもの自立～

活動の名称

「元気なならっ子約束運動」～奈良県教育委員会推奨活動～

団体等の名称

田原本町立南幼稚園

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
 行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）
 その他（校区自治会 老人クラブ 学校評議員）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

「元気なならっ子約束運動」は、奈良県教育委員会が県内幼稚園・保育所・認定こども園に通う3歳～5歳のすべての子どもとその保護者を対象にした取組。「挨拶をしましょう」「お手伝いをしましょう」「早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかり食べましょう」等に、親子と一緒に楽しみながら取り組むことにより、親子のコミュニケーションが豊かになり、親子が共に成長し、家庭の教育力が向上することで、子どもの健全育成につなげることを目的としている。



◆ 主な活動内容

※右記の「おやくそくシートとシール」を県教委より配布。（7・8月、12月に行う）

本園では、「元気なならっ子約束運動」に参加する中、「おやくそくシートとシール」を活用するにあたり、家庭への配布の仕方や継続して取り組めるような家庭への啓発の仕方、地域や関係諸機関と連携して効果を高める方法を検討し、職員間で工夫を重ねた。

- ① 取組状況 取り組んだ子ども97%、積極的に取り組んだ(8割以上シールを貼れた)子ども76%
- ② 子どもに対する啓発 a) 個別の働きかけ b) 職員劇 c) 「早寝早起き朝ごはん体操」 d) 手作り教材活用
- ③ 保護者に対する啓発 a) 個別の働きかけ b) ポスター掲示・園便り・クラス便り配布 c) 園独自で作成した「みなみっ子頑張り表」の活用 d) 実態調査や事後調査（「起床時刻」「就寝時刻」「朝食時刻」「取組を終えて」）
- ④ 関係諸機関・地域との連携
 - a) 保健センターに、「朝ごはんレシピ」「様々な食材に興味がもてる塗り絵」提供依頼 b) 挨拶運動に地域の支援者、学校評議員に協力依頼 c) 地域の「ラジオ体操」に参加
- ⑤ 各家庭での取組の様子を丁寧に把握（園独自の記載用紙を添付）



家庭での様子



「ラジオ体操」の様子



「早寝早起き朝ごはん体操」の様子

◆ 活動の成果と今後の展望

約束を決めて親子で取り組むことで、最初はシールを貼る楽しみから行っていたが、取組が進む中で親子のコミュニケーションが深まり、親から誉められることの喜びが生まれ、達成感が高まることにより、次の活動への意欲につながりを見せている。また、園や関係諸機関からの情報や地域行事に参加する中で、保護者は生活習慣のリズムを整える大切さを意識し、子どもは楽しみながら習慣付いてきた。今後も引き続き、園独自の工夫を加えながら、保護者が自発的に取り組めるような家庭への啓発を行っていきたい。